

2月のどきどき

響き渡る音色に惹かれて

2月5日 毎年恒例となつて
いる追分公民館ロビーコン
サート「アイスキヤンドルと
コンサートの夕べ」が開かれ
町内外の7団体の歌声や演奏
を披露するための特設会場に
は、あふれんばかりの人々が
集まりました。

実行委員会が10日以上かけ
て作成したアイスキヤンドル
約800個が玄関前を飾り、
冬のコンサートを目と耳で楽



しめる雰囲気づくりとなつて
いました。



10日、札幌交響楽団コン
サートマスターの大平まゆみ
さんを招いて早来中学校でコ
ンサートが開かれました。

早来ライオンズクラブが青
少年健全育成事業として実施
した公開授業は一般の参加者
も募つての開催でした。

「音を聴くのではなく聴き
に行つて欲しい」と世界的な
バイオリン奏者の大平さんが
目の前で奏でた美しい演奏か
らは、会場の皆さんはどのよ
うに音を感じたことでしょう。

子宮頸がん予防講演会

子宮頸がん予防についての
講演会が5日開催されました。

講師の北海道対がん協会細
胞診センター所長の藤田氏は
「予防のできるがんワクチン
であること」や町の助成対象
者中学1年生と高校1年生位
の年齢に効果がある理由、「子
宮頸がんは20代が発症のピー
ク」など注目すべきポイント
の説明がありました。

ワクチン接種が始まり減少
効果は次世代で期待できるが
「若年層の子宮頸がん検診率
が非常に全国的に低いことは
危険な状態であり「検診の受
診や20代からのワクチンの接
種も効果が期待できる」こと
にも触れ、「予防できる子宮頸
がん」について関心を持つて
欲しいと紹介されました。



「やっぱり北海道だべさ！
いんでないかい安平町！」

16日、早来公民館にて千石
涼太郎さんの講演会が開催さ
れました。

小樽市生まれの千石さん。
北海道で常識と思つていた
ことが実は内地（本州）に行
くと非常識といつた事があり
ますが悪いことばかりでなく
良い事、魅力的なことも多い
地であると始めたお話は、地
元の魅力を見つける方法の一
つと「安平町のいんでないか
い」の発見法としてのアドバ
イスをいただきました。

なお、この事業は社会教育
事業企画検討会からの提案で
実現した事業で、町民ニーズ
により教育委員会が開催した
ものです。

全日本技術選手権出場 決定

村山竜太さん（追分スキー
連盟所属）が11、13日留寿都
村で開催されたテクニカル
スキーコンテストで大回り・
小回り・フリー3種目の総合
成績で35位となり、3月長野
で開かれる全日本スキー技
術選手権大会への出場権を
得ました。

安平山スキー場を中心に
スキーの実力をつけてきた
村山さんは、普段は練習以外
でも指導員としてスキー場
に足を運んでいます。

子ども達に教えることや
目標にしていた全日本大会
への出場とスキーへ接する
機会は広がっていますが、大
会に向けてコーチをつけて
「実力を出し切りたい」とい
う思いで練習を続けていま
す。

